かあかあ kaa-kaa

意味

烏の鳴き声。

用法

・類似：かか

かいかい kai-kai

意味

「かゆいかゆい」から「かゆい」の意味。かゆくて掻く動作。

かいかい 回々 kai-kai

意味

「回回教」回教（イスラム教）の異称。

用法

「回回青」=「回青」と同じ（回青=回教（イスラム教）圏から中国に輸入された青色（コバルト）の顔料

・類似：ういうい

かいかい 怪々 kai-kai

意味

非常に怪しいようす。

用法

「奇々～」

かいかい 快々 kai-kai

用法

「快快的」=中国語の外来語で、「急いで」「早く」の意味。反対語は「慢慢的」。

かいかい 恢々 kai-kai

意味

(1) 広く大きいようす。(2) ゆったりとしたようす。

用法

「天網恢々疎にして失わず」（老子第七十三章。悪事をすれば、一時は逃れることができたとしても、天の網は必ず捕える）

かいかい 晦々 kai-kai

意味

(1) 日光が覆われて暗いようす。 (2) 夕暮れの暗いようす。

用法

かいがい - しい 甲斐甲斐しい kai-gai-shii

意味

(1) (心がけが) けなげで、まめまめしく働く。 (2) きびきびして、活動的。

々々々 : 用法 : (1) 「～しく働く」 (2) 「～いでたち」

・類似 : (1) まめまめ, きりきり (2) きびきび

かいくりかいくり kaikuri-kaikuri かいぐりかいぐり
kaiguri-kaiguri

意味

(1) 「掻い繰り」 (= 左右の手でたぐる動作) と同意。 (2) 胸のあたりで左右の手をぐるぐる (たぐり寄せるように) 回すようす。 (3) 左右の手をぐるぐる回すあそび。

用法

・類似 : ぐるぐる, くるくる

かえすがえす 返す返す kaesu-gaesu

意味

(1) 何度も繰り返すこと。 (2) どう考えても。振り返って思うこと (後悔であることが多い)。(3) 丁寧に。

用法

(2) 「～も残念なことをした」

かか ka-ka

意味

(1) 母親。主に東北地方での「おかあ」 (= おかあさん) の別称で、「おかか」とも言う。 (2) 転じて夫が妻に対して言う言葉。

説明

(1) には「嚙嬬」の字がある。

用法

・対語 : とと

かか ka-ka

意味

着物。

説明

現在では使われない。

用法

・類似：ベベ

かか ka-ka

意味

(1) 鷺鷥や鳥などの鳴き声。(2) 水などを飲む音。

説明

(1) も (2) も現在では使われない。

用法

・類似：(1) かあかあ (2) ごくごく

かか 呵々 ka-ka

意味

大声で笑うようす。

説明

現在では使われない。

用法

「～大笑」

・類似：からから

かきかき kaki-kaki

意味

(1) 汗をかきながら。(2) ...転じて、恥をかきながら。

用法

(1) 「汗を～励んでいます」(2) 「恥を～勉強しています」

かくかく 斯く斯く kaku-kaku

意味

経過の長い説明表現を省略して言い表すもので、(結果として)こうして。このように。このような。

説明

一般には「かくかくしかじか」で使われるので、「しかじか」を参照。

用法

「～の次第で」「～しかじかの理由」

・類似：これこれ, こうこう

かくかく 赫々 kaku-kaku かつかく 赫々 ka-kkaku

意味

(1) 赤く輝くようす。熱気を発するようす。(2) 輝かしい、または華々しい功名をあげるようす。とても盛んなようす。人格や人徳など、人として優れているようす。

用法

(1) 「烈日～」「～たる陽の光」(2) 「～たる名声」「～たる実績を持つ」

かさかさ kasa-kasa

意味

(1) 干からびた(乾ききった)ものが擦れ合って発する軽い音。(2) 乾燥して潤いがないようす。かさついているようす。

説明

(1) 「がさがさ」より軽い音。(2) 「がさがさ」よりも滑らか。

用法

(1) 「～と枯れ葉が散る」(2) 「掌が～している」

・類似：がさがさ

かさねがさね 重ね重ね kasane-gasane

意味

度重なる。何回も(何度も)同じことを繰り返すようす。

用法

「～の失態で申し訳ありません」「～のご親切を感謝します」

・類似：なんどもなんども, じゅうじゅう

かじょうかじょう 筒条筒条 kajo-kajo

意味

一つひとつの筒条。

用法

・類似：じょうじょう, ひとつひとつ

かすかす kasu-kasu

意味

食べ物にうま味や潤いがないようす。

用法

「～してまずいリンゴ」

かすかす kasu-kasu

意味

きわどい(限界の)ようす。辛うじてできるようす。

用法

「～で合格した」

・類似：すれすれ，ぎりぎり，かつかつ

かすれがすれ 掠れ掠れ kasure-gasure

意味

(1) かすれながら。(2) ところどころがかすれているようす。

用法

(1)

かずかず 数々 kazu-kazu

意味

(1) たくさん。多く。(2) 一つ一つ。(3) カズノコ(ニシンの)。

用法

(1) 「～の思い出」

・類似：(1)さまざま，くさぐさ，いろいろ (2) ひとつひとつ，ここ

かたかた kata-kata

意味

堅いものが互いに打ち当たりあって出す軽い感じの音。

用法

・強度：がたがた > かたかた

・類似：かちゃかちゃ，がたがた

かたかた kata-kata

意味

幼児が押して歩くと車輪の回転でカタカタと音を出す、歩行玩具。

用法

かたがた 方々 kata-gata

意味

(1) 「人々(ひとびと=多くの人)」に対して、敬意を含んだ言い方。(2) 多くの人達。あなたがた。おのおのがた。(3) あちらこちら。四方八方(=あちこちの方角)。

用法

(1) 「参加された～」 (2) 「～の意見」

・類似： (1) (2) ひとびと (3) ほうぼう

かちかち kachi-kachi かちんかちん kachin-kachin

意味

とても堅いようす。

用法

「緊張して～になっている」「～に固まっている」「～に凍っている」

・強度：がちんがちん > かちんかちん > かちかち

・類似：かちかち, こちんこちん

かちかち kachi-kachi

かっちんかっちん katchin-katchin

意味

小さく堅い物が連続してぶつかり合って立てる、小さいが鋭い音。

用法

・類似：こちこち

・強度：かっちんかっちん > かちかち

かちゃかちゃ kacha-kacha

意味

金属など、硬いものが当たり合ったり触れ合ったりして立てる音。

用法

・類似：かたかた, ちゃかちゃか

かつかつ katsu-katsu

意味

鯉。

かつかつ katsu-katsu

意味

堅い物が他のものにぶつかり合って立てる音。

用法

「～と靴音が近づいてきた」

・類似：こつこつ

かつかつ katsu-katsu

意味

やっとの状態やようす。どうにかこうにか成り立つ状態やようす。どうやら。

用法

「～間に合う」

・類似：すれすれ，ぎりぎり，かすかす，はつはつ

かつがつ 且々 katsu-gatsu

意味

(1) 不満だが。ともかく。辛うじて。どうにかこうにか。(2) とりあえず。さしあたって。
(3) 早くも。今からもう(始める, 始まる)。(4) それに加えて。合わせて。

用法

(1) 「家計も～で苦しい」

・類似：(1) かつかつ

かどかど 角々 kado-kado

意味

(1) 角が多く(尖っていて]_{x-small}{}) 危険な状態や、そのたとえ。(2) あちらこちらの街角。

用法

(1) 「～しい態度」(2) 「～に立つ」

・類似：(1) とげとげ (2) つじつじ, すじすじ

かねがね kane-kane

意味

かねて(=以前)から。ずっと前から。昔から。

説明

「から」を付けるのと、そうでない用法がある。

用法

「～思っていた」「～から思っていた」

・類似：まえまえ

かばかば kaba-kaba かぼかぼ kapa-kapa かつぽかつぽ kappa-kappa

意味

中が空いたしりた(中空の)物が響き良く連続して発する音。

かみがみ 神々 kami-gami

意味

たくさんの神。複数の神様。

用法

「～の宿る山々」

かむかむ 'Come Come' kamu-gamu

意味

英語で「おいでおいで」といったニュアンスだが、正しいものではなく、戦後の日本でいい加減な英語が蔓延していたころの俗語。「カモンカモン」などもある。

かもかも kamo-kamo

意味

「かもかくも」の省略で、ともかくも(とにもかくにも)。いずれとも。

用法

「ちんちんかもかも」

・類似：げにげに

からから kara-kara

意味

さわやかに、声高く笑うようすや笑い声。

用法

「～と笑った」「かんら～と笑う」

・類似：けらけら

からから kara-kara からんからん karan-karan

：意味：(1) 何も無いようす。すっからかん。(2) 渴ききっているようす。とても乾燥しているようす。

説明

《語源》空 = 中身がない。からっぽ。

用法

(1) 「財布が～だ」(2) 「～の天候」「喉が～に乾く」

・強度：からんからん > からから

からから kara-kara からんからん karan-karan

意味

乾いた物や硬い物が触れ合ったり、回転したりして発する音。

説明

「からんころん」というほうが多い。「からんからん」のほうに余韻のニュアンスがある。

用法

「風車が～回っている」「～と空き缶が転がった」

- ・強度：からんからん > からから
- ・類似：からから，ころころ

からから 辛々 kara-gara

意味

やっと。かろうじて。

用法

「命～逃げてきた」

- ・類似：ほうほう

かりかり kari-kari

意味

(1) とてもよく乾燥し、または乾ききって物が軽く、薄く、堅くなったようす。(2) 堅くて軽い感じの物を噛み砕く音、または噛み砕くようす。(3) 神経が過敏になっていらだつようす。

用法

(1) 「干して～にした」(2) 「ポテトチップを～と音を立てて食べた」(3) 「頭に～くる」

- ・類似：(1) からから (2) ぱりぱり，ぼりぼり，こりこり (3) いらいら

かるがる 軽々 karu-garu かるがる karo-garo

意味

(1) 軽く見える／思えるようす。とても軽そうなようす。重量が重そうに思えるものでも軽そうに持ち上げるようす。(2) ...転じて、とても楽に。とても簡単。たやすそうなようす。

用法

(1) 「～と持ち上げた」(2) 「～とやってのけた」

- ・類似：(1) かるがる (2) らくらく，すいすい

かるがる - しい 軽々しい karu-garu-shii かるがる - しい karo-garo-shii

意味

(1) 身分が低そうなようす (2) 手軽なようす (3) 配慮に欠けた言動。軽率な言動。

用法

(2) 「～しい発言だ」「～しく動くな」

- ・類似：うかうか - しい，けいけい
- ・対語：おもおも - しい

かわりがわり 代わり代わり kawari-gawari かわるがわる 代
わる代わる kawaru-gawaru

意味

次から次と代わり合って。順番に交代してゆく。

用法

「重たいから～に持った」

・類似：こうたいごうたい

かんかん kan-kan

意味

(1) 火が激しく燃えるようす。日光が激しく(強く)照りつけるようす。(2) ...転じて、激しく怒るようす。

用法

(1) 「日が～と照りつける」「～照り」(2) 「～に怒る」

かんかん kan-kan

意味

金属や石などの硬い物、堅い木などがぶつかって発する音。鐘などを叩く音。

用法

「～虫」=煙突などに(虫のように)へばりついてハンマー(槌)で「かんかん」叩いて錆び取りをする職人。

・類似：ちんちん

かんかん kan-kan

意味

(1) 髪。頭部。(2) 簪。(3) かわいいようす。かわいいもの。(4) 下駄。かっこ。

用法

(1) 「～がふさふさした赤ちゃん」

かんかん 侃々 kan-kan

意味

剛直(ごうちよく=気質が強く心正しい)なこと。

用法

「～の議論を交わす」)

・連結：(1) 「侃々諤々」(かんかんがくがく「侃諤」と同意で、遠慮なく議論すること。

かんかん 閑々 kan-kan

意味

心静かに落ち着いているようす。心のどかなようす。

用法

「悠々閑々」= 急がず、のんびりしたようす。

かんかん 閑々 kan-kan

意味

鳥のどかな声。

かんかん 緩々 kan-kan

意味

とても緩やかなようす。急がず、のんびりしたようす。

用法

「～の沙汰」

かんかん 缶々 kan-kan

意味

缶。

用法

「～を捨てる」

かんかん 看々 kan-kan

意味

用法

「看看踊り / かんかんのう」= 唐人踊り。

かんしゃかんしゃ 感謝感謝 kansha-kansha

意味

とても感謝している気持ちから発せられる言葉。

用法

「～の表れです」